

第37回キヤンサーボード開催のお知らせ

日時:平成21年9月2日(水)18:00-19:00

場所:附属病院4階 第1会議室

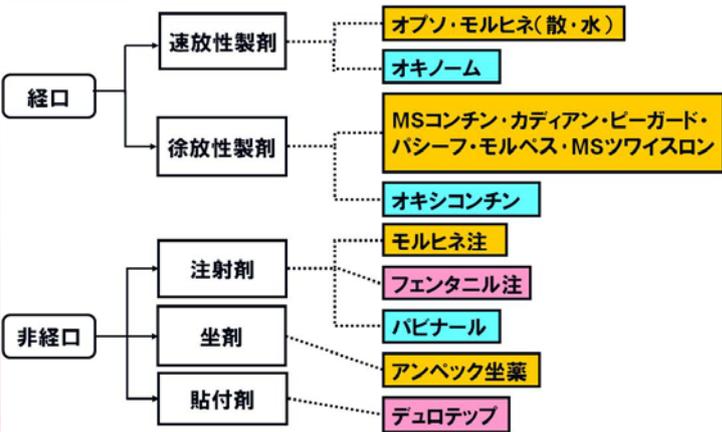
テーマ「ネオアジュバンドケモテラピーについて」

センター病院乳腺外科より



第36回キヤンサーボード報告 オピオイドの副作用対策の注意点 —アカシジアを中心に— (緩和ケアチーム)

オピオイドの剤形と製剤の選択



制吐薬 プロクロルペラジン (ノバミン®)
ハロペリドール (セレネース®)
これらは中枢性D2受容体遮断薬・
定型抗精神病薬の一種

ドパミン (D2) 受容体遮断薬の副作用
錐体外路症状がある。症状としては、
アカシジア・ジスキネジア・筋固縮・振戦など
嘔気を認めない場合は、オピオイド開始2週間
前後で一度中止。
アカシジアは意外と多い副作用症状。

オピオイド導入時に注意すること

- ・オピオイドが適正な量で使用されているか?
- ・オピオイドの種類、剤形は適切か?
- ・副作用対策はしっかりされているか?
→どんな副作用があるだろうか?

オピオイドの三大副作用

(**嘔気・嘔吐**、便秘、眠気)

- ・オピオイド投与初期、増量時にみられる
- ・出現頻度は30%程度
- ・一旦出現すると、その時点から制吐剤を使用しても難治性となる事がある
- ・予防的に制吐剤を使用する事が必須
- ・オピオイドを開始し1-2週間で、嘔気に対する耐性ができることが多い

アカシジアとは

抗精神病薬 (ドパミン遮断薬) で起きやすい。
症状としては、座ったままでいられない・じっとして
いられない・下肢のむずむず感・不眠、不安、いら
ら感・非常に不快な症状で、希死念慮が生じた例も。

WHOラダー



第36回は、**58名**の方にご参加
いただきました。ありがとうございました。